

G20 再生可能エネルギー普及に係る自主的選択肢ツールキット (骨子)

1. 概要

- 世界の最終エネルギー消費量のうち再生可能エネルギーは 18%を占める（2012 年）。また、G20 は全世界の再生可能エネルギーによる発電容量の 80%を担う。IRENA（国際再生可能エネルギー機関）の分析によれば、G20 は、今後 2030 年までに世界で整備される再生可能エネルギーの 75%を、また、同年までに実行される、再生可能エネルギーによる発電分野への投資の 70%を担うとされる。
- 資源の入手可能性は各国毎に異なり、それぞれの状況に応じた取組みが必要であるとの認識のもと、G20 では、IRENA が中心となって、再生可能エネルギー普及のために G20 が自主的に注力しうる協力の選択肢をとりまとめた。

2. 再生可能エネルギー普及の自主的選択肢

① コスト低減の分析及び経験共有

再生可能エネルギー技術に関するコスト分析は、国際協力、技術移転、キャパシティ・ビルディング等の優先課題を特定する上で有益。G20 は IRENA 等に対し、コスト削減と政策オプションに関する分析を要請。

② 適切な政策枠組みと電力システムに関する知識共有

G20 諸国の政策等のベスト・プラクティスを共有することは、再生可能エネルギーの政策支援を効率的に実施する上で有益。例えば、多様な再エネを電力システムシステムに取り込むためには、ディマンド・サイド・マネージメント、スマート・グリッド、蓄電池等の柔軟なオプションが必要であり、このための経験の共有が有益。G20 は IRENA 等と協力するとともに、送配電事業者や規制当局との間で経験を共有する。

③ 再生可能エネルギーに係るリスク低減策の促進

再生可能エネルギーのリスクを軽減するためのファイナンス・メカニズムを促進するため、ファイナンス組成に関する経験共有を行うための方策等を検討する。

④ 再生可能エネルギー技術の潜在性分析と開発ロードマップの策定

G20 諸国の再生可能エネルギー技術の潜在性やコスト・ベネフィットに関する分析を踏まえつつ、今後 IRENA や関心ある G20 メンバーが国際機関と協力しつつ、各国の事情に応じた再エネ普及策の見直しをはかる。

⑤ バイオエネルギーの促進

G20 は IRENA 及び G20 の関心国とともに、バイオマス・エネルギーの利用を高めるため、コスト分析や革新的なバイオマス利用法について分析を行う。

(了)